



土浦市は、マンション建設に伴う紛争が生じた場合には、当事者である建築主等及び周辺住民が相互の立場を尊重し、自主的に解決するよう努めるものとしているが、水戸市は建築計画の事前公開、紛争の

△質問▽



柏村 忠志 議員

マンション建設に伴う紛争防止のための法整備は

一 合併後の新治地区の行政課題は？
二 学校給食センターについて
三 学校給食センターについて

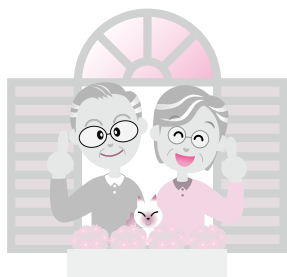
造に及ぼす影響や市債残高の推移などを総合的に勘案し、財政の健全性及び弾力性が損なわれることがないように、起債制限比率やプライマリーバランスに配慮をしつつ、長期的かつ計画的な運用が肝要と認識している。また、合併特例債については、その年度の財政状況及び事業内容を十分検討し、通常の市債をより有利な合併特例債に振り替えながら活用してまいりたい。

△都市整備部長▽

建設に伴う紛争を未然に防止し、居住環境の保全をするため、現在、各指導要綱に従い、事業者との事前協議の中で指導をしている状況であるが、今後も各地区でのマンション建設が増加することが予想されることから、それらに伴う紛争等も考えられるので、その予防と調整について、水戸市等先進地の事例などを研究してまいりたい。

△掲載以外の質問事項▽

二 「土浦駅前北地区市街地再開発事業」などで、中心市街地は元気になりますか
三 駅前再開発等の中間総括について



土浦駅前北地区再開発事業について



宮本 勉 議員

△質問▽

土浦駅前北地区再開発事業について、市は関連事業費一億八千六百八十六万円を計上し、年度計画に沿って事業に取り組む姿勢を明確にしているが、箱物を作れば維持管理費は毎年大変な費用がかかる。需要と供給のバランスを考えると、住宅施設の建設は、問題はないか、駅前の図書館建設と住宅整備は、中心市街地の活性化を図れるか、伺う。

△市長▽

中心市街地では居住人口の減少、商業や業務施設等の閉店など、いわゆる空洞化が顕在化していることから、中心市街地の活性化を目的として、本年度に事業推進計画を策定し、図書館と住宅を核とした再開発事業を進めることとしている。計画では、図書館の来場者を一日当たり約二千人と試算しており、それなりの

インパクトがあるものと思っ
ている。また、生活するのに
安心安全で便利なまち中に人
を増やし、併せて購買人口を
増やして、活力あるまちの復
活を目指している。

△掲載以外の質問事項▽

二 合併後の新治地区の市道の整備について
三 花火大会と街づくりについて

AED講習会とトレーニング機器の確保について



吉田千鶴子 議員

△質問▽

一旦習得したAEDを含めた救命手当法の知識技術の維持が容易ではないことから、既にAEDが配置になっている市内十二施設の職員に対する救急講習会と、今後の配置拡大に伴う救急講習会をどのように行うのか。加えて、救急講習会時のトレーニング用AEDと心肺蘇生法の訓練人形の配置状況を伺う。

△消防長▽

AED配置先の施設職員の内

救急講習会は、通常の講習時間よりも一時間長い四時間の救急講習会を予定している。資機材については、現在、トレーニング用AED十一台、心肺蘇生用の訓練人形十三体を土浦署、荒川沖署、神立署、新治署及び南分署に分散配置している。一日の講習会の回数や受講者数によっては不足する場合もあるので、年次計画で増強してまいりたい。

△掲載以外の質問事項▽

二 公園の木の剪定や間引き等について

BLSやグッドサマリタなど命の教育について



入江勇起夫 議員

△質問▽

緊急時に何よりも大切になってくるのは、日常生活の中で突発する健康危機に市民が即座に判断し、とるべき行動をまとめたプログラム、BLSである。また、グッドサマリタンは、「善きサマリタ人の教え」と言われ、アメリカ人の慣習法となっている考え